

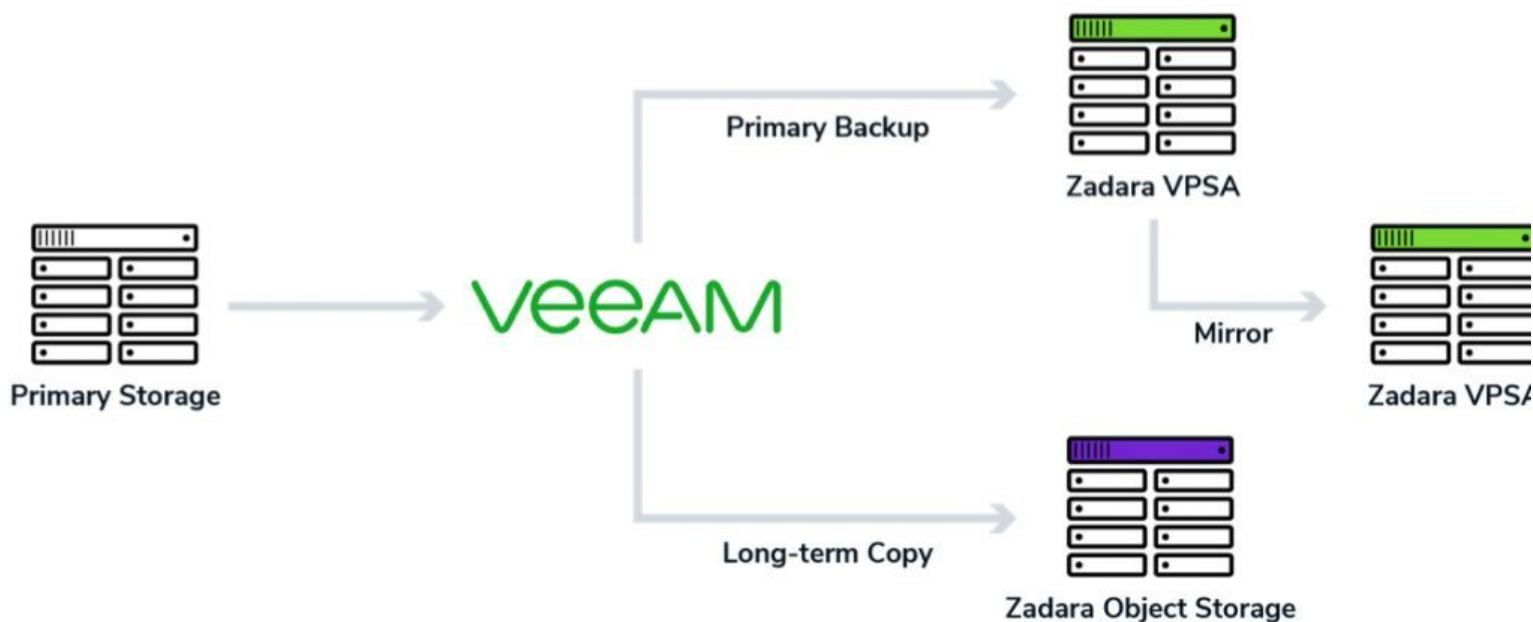
Zadara レポート- 1月 2020年

日本市場に対するZADARAの取り組み

Zadara レポート - 1月 2020年

概要

今年1月のZadaraレポートは、驚くべきZadaraの特徴がSMB分野、エンタープライズ分野、そしてサービスプロバイダ分野でどのように活用できるのか、またZadaraの機能を活用してどのようにビジネスを強化していくのか、最新機能のリリースとともに、興味深い市場動向を示すことを目的としたものです。



ZadaraとVeeam

日本国内のマーケット

日本において、クラウドサービスの成長率は、2016年まで約43%の高い水準で推移していましたが、この所、減少傾向が目に見え始め、事実、現在の成長率は約24%となり、徐々に横ばい傾向となっております。つまり、クラウドサービスはまだまだ期待できる有力な市場ではありますが、成熟の段階に入り始めたと言えます。

ITサプライヤーとベンダーはハードウェアをオンプレミスシステム（所有型）として提供する従来のモデルから、プライベートクラウドもしくはパブリッククラウドを介したサブスクリプションモデルへの移行を推進し続けている一方で、オンプレミスのニッチな市場及び大規模な社内プライベートクラウドの提供の手綱も緩めておりません。

それにもかかわらず、一般的に日本企業によるIT支出はまだまだ少なく、その事はほとんどの企業が2025年に対しても、10年以上経過したシステムを使い続けているかもしれないという事を暗示しております。経済産業省(METI)によると、日本企業のIT投資に占める予算のたった約20%しか、新しいプロジェクトへの予算が割り当てられておりません。

驚くべきことにほとんどの企業は既存のシステムを長年使用しており、43%の企業がITに関連するコストの90%を既存システムのメンテナンス費用に割り当てております。

経済産業省は、日本の企業の60%は、2025年に対しても20年以上前のシステムを引き続き使用していると予測を立てております。

上記の事が示すことは、既存のシステムを使い続ける日本企業の現在の環境を、慎重に、緩やかに、痛みなく、最先端のシステムに移行するお手伝いをする機会が多くあると言う事です。その機会と価値はZadaraの柔軟で力強い機能を提供し続けるストレージ基盤に支えられたクラウドサービスとVDIソリューションを組み合わせたシンプルで効率的なオンプレミスプライベートクラウドから得られることとなります。

日本市場に対するZADARAの取り組み

Zadaraは長年、日本において地道に成長を遂げておりましたが、現在かなりの勢いが出始めております。このPRを機会に、最新の機能をお客様およびパートナーと共有させていただきます。

経験豊かな国内及びグローバルサポートチーム

- ・ 24時間 365日 監視・対応可能
- ・ 日本語および英語での応答

あらゆるビジネスタイプに適応した柔軟な価格モデル

- ・ オンプレミスモデル - 従来の買取に年間のメンテナンスとサポートを加えたモデル
- ・ OPaaS - オンプレミス・アズ・ア・サービス
- ・ オンプレミスモデルを利用した分で課金するサービス
- ・ Cloud - 1時間ごとの OPEX モデル AWSと全く同じモデル

詳しくはこちらへ: https://www.zadara.com/sol_premises.php?locale=ja

3つのストレージタイプをワン・プラットフォームに簡素化させたストレージ

- ブロック - HDD と SSD
- ファイル - NFS だけでなく AD あるいは LDAP で管理できる CIFS と SMB
- オブジェクト - S3 とSwift互換のAPIs

あらゆる実装が可能なアプローチ

- オンプレミス - 貴社のオフィス、工場、またはデータセンター
- イン・クラウド - Zadara 及びパートナーのクラウドサービスを利用 - すべての主要なパブリッククラウドとの接続 (AWS, Azure & GCS)
- ハイブリッド - オフィス、工場、データセンターとパブリッククラウド間の接続
- マルチクラウド - 特定のクラウドプロバイダーへのリスクを低減しかつ拡散し、ロックインを低減

主要な IaaS クラウドプラットフォームとの統合

- Cinder プラグインを使用した Cisco CVIM
- Cinder プラグインを使用した OpenStack
- CSI ドライバー を使用した Kubernetes
- VMWare のESX VM デイスク

主要なバックアッププラットフォームとの統合

- Veeam
- Asigra
- CommVault

詳しくはこちらへ: https://www.zadara.com/about_partners.php

About Zadara

ZadaraのVirtual Private Storage Array (VPSA) は、SDSとしての最初のエンタープライズストレージ、所謂“Software Defined Enterprise Storage(SDES)”です。ブロック、ファイル及びオブジェクトストレージシステムを、弾力性とともによりプライベート性を保ったエンタープライズクラスのデータ保護とデータ管理を兼ね添えたストレージサービスとして提供しております。Zadara Storage Cloud は、以下に述べる主要な属性を備えた、業界最初の「クラウド向けEnterprise-Storage-as-a-Service データストレージシステム」です。

- ・ 要求の厳しいデータセンターアプリケーションワークロードに対応した高品質、復元力、高可用性のある一貫したパフォーマンスを提供するストレージ
- ・ サービスとして利用できる - 柔軟で動的、かつ請求が簡単
- ・ スケールアウト - 数百ものストレージノード, 数千ものドライブとマルチペタバイトストレージ
- ・ 真のマルチテナンシー - エンドユーザーを主役として管理できるプライバシーとセキュリティ。テナントごとにワークロード、リソースを割り当て、管理と分離をし、各テナントが本当に「とがりからのノイズのない」安全なストレージを実感することが可能
- ・ ユニバーサルストレージ - 1つの共通インフラストラクチャで、ブロック、ファイル、オブジェクトのすべてのデータサービスをサポート

VPSA Storage Array: HDD とSSD を組み合わせたブロックもしくはファイルストレージタイプをサポートできる仮想ストレージアレイ

VPSA Object Storage Array: HDD もしくは SSD を使った Object/S3 ストレージタイプをサポートできる仮想ストレージアレイ

含まれる機能:

- ・ ブロックボリューム、ファイル共有、そしてオブジェクトストア/S3 を備えた統合ストレージ
- ・ データ保護 (RAID-1, 6, 10, 60)
- ・ 高度なデータ管理 (シンボリックリンク、スナップショット & クローン, リモートミラーリング, Built-in オブジェクトストレージへのバックアップ, Built-in Anti-Virus サービス, SSD フラッシュによる高速キャッシュ, 等...)
- ・ 2段階認証、役割を定義したアクセス権限、保存データの暗号化、及び書き込み中データの暗号化などのセキュリティ機能
- ・ ストレージコントローラー内で Docker 互換コンテナを稼働させアプリケーションを実行できる機能 = IOをサーバと分離せず集約する機能
- ・ 管理GUI 及び Rest API
- ・ CPU, RAM, キャッシュ、ドライブ割り当てなどの各リソースをオンラインで拡張・縮小できる柔軟性
- ・ IPv4 及び IPv6 ネットワーキングのサポート

これらはすべてサービスとして、信頼性が高く、プライベート性を確実に確保できる安全性が特徴のサービスとして利用されております。

Zadara が世界で一番である理由:

- ・ 世界中の250か所以上でサービス運用施設を所有 - 一部プライベート (OPaaS)
- ・ クラウドサービスは、世界で展開する20のうち16の AWS リージョンと、いくつかの主要な Azure リージョン、Google リージョンを近距離で接続
- ・ ネットワーク経由でパブリッククラウドに接続できるクラウドストレージの先駆者 - 他のユーザーがフォロー
- ・ AWS ダイレクトコネクト、Azure エクスプレスルート、Google Cloud Connect におけるエキスパート
- ・ 他のすべてのプラットフォームから独立していながら、それらすべてと連携できる唯一のソリューション
- ・ すべてのストレージタイプを1つのパッケージに含めた唯一のソリューションであり、オンプレミス、クラウド、及びハイブリッドとして展開可能 - 一つ一つに対して、技術取得の必要がない
- ・ 小規模オフィス、大企業、サービスプロバイダー及びテレコム会社の社内で使用しつつ、それをサービスとして顧客に販売可能な唯一のソリューション

詳しくはこちらへ: https://www.zadara.com/sol_aws.php?locale=ja

Zadara プロビジョニングポータル

The Zadara Provisioning Portal は、Zadara Storage が提供する複数のクラウド上で、VPSA 構成 (エンジン、ドライブ、キャッシュなど) を作成、表示、変更できる Zadara Storage エコシステムへのゲートウェイです。

Virtual Controllerとは

A Virtual Controller (以下VC) は、VPSA のIO と制御スタック (exスナップショットなどをとる機能) を実行する専用 CPU と RAM を備えた仮想マシンです。高可用性を保持する為、VCはアクティブ-スタンバイのペアになっています。VCは仮想アドレス空間から物理アドレス空間への洗練されたきめ細かいブロックレベルマッピングレイヤーを維持するため、シンプロビジョニング、スナップショット、クローニング、リモートミラーリングなどのエンタープライズレベルのデータ管理機能を可能にします。

VCにより、管理とコントロールのための GUI 及び REST API エンドポイントが提供されます。

Dedicated Drivesとは

Zadara Storage クラウドオーケストラにより、各VPSA のドライブが割り当てられます。各ドライブは、冗長性を最大限に確保する為とパフォーマンスを最大限に上げるために、異なるストレージノードからプロビジョニングされます。各ドライブは各 SN から個別の iSCSI ターゲットとして対象のサーバに接続され、対象のVPSA の VC に対してのみLUNマスクされます。プロビジョニングされたドライブは、となりのユーザーがそのドライブにアクセスで

きないため、パフォーマンスに影響を与えたり、プライバシーとセキュリティを危険にさらしたりすることがなく、QoS が完全に保証されます。

日本におけるZadaraのコンタクト先

下記のURLより7日間の無料トライアルをオンラインで提供しております。もしくは下記の連絡先にご連絡頂ければ、ソリューションについて喜んでご相談に応じます。

URL: <https://www.zadara.com>

Email: sales@zadara.jp

Phone: 03-3366-1521 (ZADARAセールス担当)

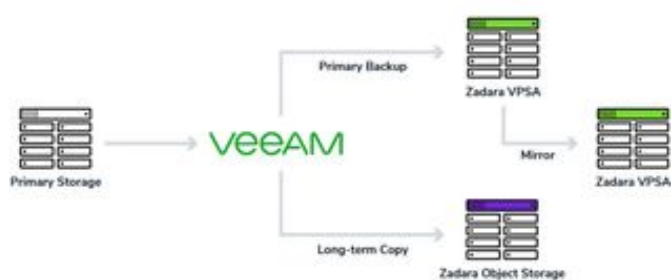
日本における総代理店

コンピュータダイナミックス株式会社

169-0073 東京都新宿区百人町 1-21-23

Phone: 03-3366-9741

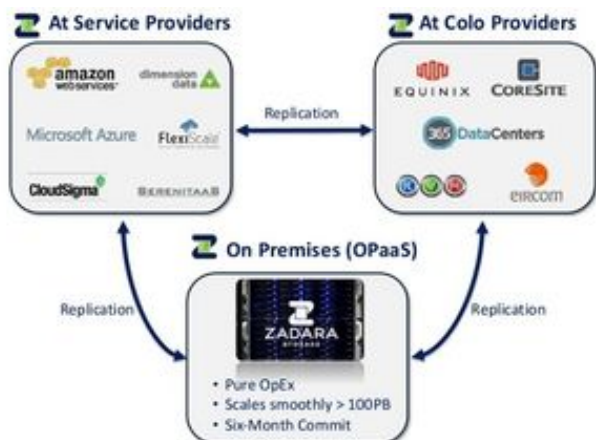
プレスリリース画像



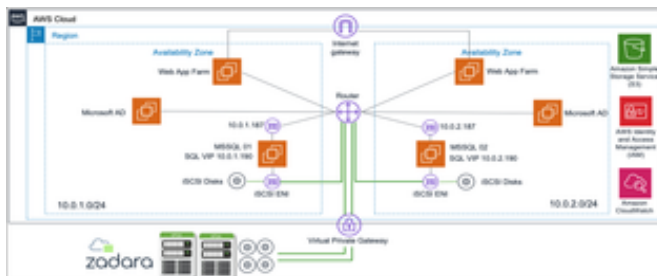
ZadaraとVeeam



Zadaraのプラットフォーム



ZadaraのOPaaS



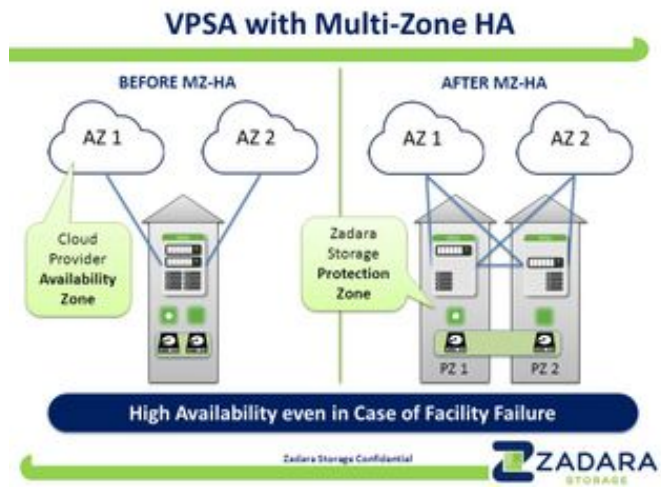
ZadaraとAWS



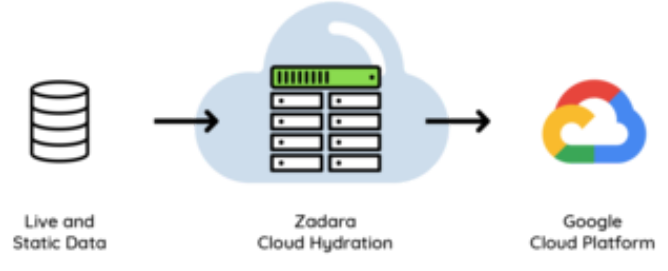
Zadara と Asigra



Zadara のグローバルハブ



Zadara のマルチゾーン



Zadara と Google



Zadara と Azure

添付動画	<p>ZadaraのSQLソリューション@AWS re invent https://www.youtube.com/embed/zaSm3ShLDRE</p> <p>What is Zadara Enterprise Cloud Storage as a Service? https://www.youtube.com/embed/j6Qo6zcVd_o</p> <p>ZadaraでVeeamのスケールアウトバックアップレポジトリ https://www.youtube.com/embed/zKGGQvTBZjWo</p>
------	---

その他資料	<p>Zadara と Veeam</p> <p>Zadara と AWS</p> <p>Zadara のオブジェクト</p>
-------	---